

事後評価シート

主管課・室長：自然環境計画課長

施策名	- 8 - (3) 自然環境の再生
施策の概要	自然と共生する社会を実現するためには、優れた自然を保全することに加え、失われた自然環境の再生を積極的に推進することが必要。 このため、関係省庁と連携し、関係自治体、専門家、NPO、地域住民等の参画も得て、失われた自然を再生する事業を実施。
目標及び指標 (参考指標)	関係省庁と連携し、地方自治体や専門家、NGO等の参画を得つつ、失われた自然を積極的に再生し、生物多様性保全の観点から望ましい自然環境を積極的に確保する。
目標の達成状況	平成13年度二次補正予算において自然再生整備事業として400百万円を確保し、釧路湿原において事業に着手。 平成14年度に自然再生事業を釧路湿原、くぬぎ山において実施するとともに、全国8～10ヶ所で事業対象地の生態系の詳細調査及び具体的な再生手法を検討するための調査等のための経費として968百万円を確保。(内訳：事業費420百万円、調査費548百万円)
評価	自然再生にかかる調査の実施は、生物多様性保全の観点から自然再生事業を効果的かつ効率的に実施するためのモニタリングの基礎となるデータの収集等の点で、有効に機能することが期待される。 計画段階から専門家、地元の市民等の参画を得た自然再生事業の実施により、地域の自然特性に応じたきめ細かな取組を合意を得つつ推進することが可能となる。 自然再生事業の実施により、自然環境の再生が図られ、政府が取り組むべき重要課題である「自然と共生する社会の実現」が着実に推進されることが期待される。
今後の課題	地域の多様な主体の連携による自然再生事業の着実な実施、自然再生事業に参加するNPO等の支援策や実施体制の一層の充実。
政策効果把握の手法及び関連資料	・市民、NGO・NPO等との連携を通じた継続的な評価が可能。 ・モニタリング調査により得られたデータを分析・活用し、自然再生の効果を長期間に亘り継続的に把握。
添付資料 (別紙)	

(別紙)

事務事業評価シート

施策名		- 8 - (3) 自然環境の再生	
事務事業名	効果 及び 評価	主な関連予算事項、税制等	
ア．自然環境の再生	自然再生にかかる調査の実施は、生物多様性保全の観点から自然再生事業を効果的かつ効率的に実施するため、有効に機能することが期待される。専門家、地元の市民等の参画を得た自然再生事業の実施により、地域の自然特性に応じたきめ細かな取組が可能となる。自然再生事業の実施により、自然環境の再生が図られ、政府が取り組むべき重要課題である「自然と共生する社会の実現」が着実に推進されることが期待される。	・自然再生整備事業（４００百万円）	